

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
麻生建築&デザイン専門学校	平成9年11月26日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町 3-83 (電話) 0948-25-5999				
目的	2級建築士・木造建築士の取得を目指すため指定科目において、建築設計、工事監理等の建築士の業務に関する知識、能力を養成する。さらに、2次元、3次元のCAD操作を通し、設計製図の実践教育を行い、倫理観・実践力を持つ人材を育成する。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築学科 (夜)	平成25年文部科学省告示第3号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜間	1794	822	908	32	32	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	22人	2人	17人	19人			
学期制度	■前期: 4月1日～8月31日 ■後期: 9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価、3分の2以上の出席が必要			
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 7月27日～8月31日 ■冬季: 12月25日～1月7日 ■学年末: 3月31日		卒業・進級条件	単位を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90% 学生としてふさわしい生活態度			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 補講の実施、留年、休学		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 建設業 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成 27 年度卒業者にに関する平成28年4月1日 時点の情報)		主な資格・検定等	2級建築士受験資格			
中途退学の現状	■中途退学者 4名 ■中退率 17.3% 平成27年5月1日 在学者 23名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 19名 (平成28年3月 卒業者を含む)						
■中途退学の主な理由 ・実家家業を継ぐため ・他学校(大学院)進学のため ・病気療養のため							
■中退防止のための取組 ガイダンス カウンセリング 学生・保護者・担任での三者面談							
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/act						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
高崎 強	株式会社 久米設計 主管
照井 善明	NPO FUKUOKAデザインリーグ 運営委員
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授
竹口 伸一郎	麻生建築&デザイン専門学校 校長
熊野 学	麻生建築&デザイン専門学校 校長代行
今泉 清太	麻生建築&デザイン専門学校 主任
黒木 文雄	麻生建築&デザイン専門学校 教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年7月10日 15:30~16:30

平成27年度 第2回 平成27年10月16日 15:30~17:00

平成28年度 第1回 平成28年7月 1日 予定

平成28年度 第2回 平成28年10月28日 予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等とのヒアリング及びお客様アンケートの情報に基づき、将来技術者(建築士など)として活躍するために、学んだ知識やCAD等の技術、コミュニケーション能力等の実務適応能力の確認をおこなうことを目的とする。

現場で活かされる実習を通して、必要な創造力や発想力を養っていく。

科目名	科目概要	連携企業等
図学・建築パース I	立体・空間の作図と模型制作の演習を通して空間把握能力を養う	石原パースデザイン

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
尾ノ上 由美	H28年度 建築工学科在校生 保護者
尾ノ上 一輝	H27年度 建築工学科 卒業生
川藤 勝治	博多区博多駅南2丁目4区自治会 自治会長
高木 秀樹	株式会社 九州住宅リフォーム 代表取締役
横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長
高崎 強	株式会社 久米設計 主管
戸田 康仁郎	株式会社 大設計 総務部長
田中 靖雄	株式会社 エヌ・アンド・シー 管理本部長
三並 恒功	株式会社PBM CEO
上原 淳司	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部長
重枝 武司	福岡県立福岡工業高等学校 校長
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hvoka_act.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (学校法人麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/act/> (麻生建築&デザイン専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(工業専門課程 建築学科(夜)) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築設計製図Ⅰ	建築製図の基本を身に付け、木造建物の図面を模写する。	1年前	60	4		○		○			○	
○			建築設計製図Ⅱ	木造住宅建物の設計手法を学ぶ。	1年前	60	4		○		○			○	
○			建築設計製図Ⅲ	鉄筋コンクリート建物の図面の模写などを通して、鉄筋コンクリート建物の作図の方法を学ぶ。	1年後	60	4		○		○			○	
○			建築設計製図Ⅳ	鉄筋コンクリート建物（貸し事務所ビル、集合住宅）の設計。	1年後	60	4		○		○			○	
○			建築CAD設計製図演習Ⅰ	Jwcadの基本的なコマンド操作を覚え、作図技術を習得する。	1年前	60	4		○		○		○		
○			建築設計製図演習Ⅰ	設計の考え方・材料の選択・構造・工法等を理解し、設計条件の中での設計手法を習得する。	1年後	32	2		○		○			○	
○			建築計画Ⅰ	建築計画の総論および全体的概要を学び、住宅建築をはじめとする各論の計画を学ぶ。	1年前	30	2	○			○			○	
○			建築計画Ⅱ	建築計画の総論および全体的概要を学び、学校、幼稚園などの計画の手法を学ぶ。	1年後	30	2	○			○			○	
○			都市計画	芸術と科学と言う性質の異なる二つの領域で構成される都市計画、人と環境との関わりを学ぶ。	1年後	32	2	○			○			○	
○			建築史	建築の流れを時代に沿って学習し、様式と建築家の名前を覚え、住宅の歴史を理解する。	1年後	32	2	○			○			○	
○			建築環境工学Ⅰ	安全・衛生的かつ快適な環境を実現するための計画の基礎的知識を修得する。	1年後	30	2	○			○			○	

○		測量学実習	測量学の基礎知識の習得と測量機器（トランシット・レベル等）の操作方法を学ぶ。	2年後	32	1				○	○							○
○		国家試験対策Ⅰ	二級建築士試験学科Ⅰ（計画）の過去問題を中心とした対策授業。	2年後	30	2	○				○							○
○		国家試験対策Ⅱ	二級建築士試験学科Ⅱ（法規）の過去問題を中心とした対策授業。	2年後	30	2	○				○							○
○		国家試験対策Ⅲ	二級建築士試験学科Ⅲ（構造）の過去問題を中心とした対策授業。	2年後	30	2	○				○							○
○		国家試験対策Ⅳ	二級建築士試験学科Ⅳ（施工）の過去問題を中心とした対策授業。	2年後	30	2	○				○							○
○		国家試験対策製図Ⅰ	二級建築士試験（製図）の作図対策授業。	2年後	60	4				○	○							○
○		国家試験対策製図Ⅱ	二級建築士試験（製図）の作図対策授業。エスキスから作図までの一貫課題の対策授業。	2年後	60	4				○	○							○
合計					46 科目			1794 単位時間(116 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目（実習を含む）に合格し、当該学年における単位数を取得していること。</p> <p>出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。</p> <p>国土交通省が定めた規定の時間を満たした者。</p> <p>学生としてふさわしい生活態度であること。</p> <p>上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。</p>	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	1 5 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。